

感染者などへの偏見や嫌がらせは重大な人権侵害

【問】市人権・同和教育推進室（☎77・8842）

国内外で広がる 偏見や嫌がらせ

新型コロナウイルスの感染が広がる中、世界中でアジア系の人たちに対する偏見や嫌がらせが増えています。しかし、特定の人種や民族で感染や拡散のリスクが高いわけではありません。

日本国内でもコロナウイルスに感染後、完治した人に対する偏見や嫌がらせが報告されています。また、親が感染者の治療にあたる医療従事者だという理由で、子どもが友人から「近くに來るな」と心ない言葉を言われたケースもあります。

SNSで拡散する 誤った情報

「ウイルスはお湯で死滅する」「ウイルスの影響でトイレトーパーがなくなる」などSNS上で誤った情報が拡散しています。中には、「あそこの店の従業員が感染した」といった特定の店舗や人をターゲットとした悪質なものが、根拠がないこれらの誤った情報は、偏見や差別につながる危険なものです。

偏見を正して 根拠のない話に異議を

感染者やその家族、治療にあたった医療関係者、海外から

の帰国者、外国人などに対して、不確かな情報や誤った情報に基づく不当な差別やいじめ、誹謗・中傷などの人権侵害は、あつてはならないことです。

偏見を正して、根拠のない話には異議を唱えましょう。

正しい情報で 冷静に行動

不確かな情報に惑わされて人権侵害につながる可能性があります。国や地方公共団体が発表している正しい情報に基づいた冷静な行動をお願いします。

市内で感染者が確認された場合、県が公式に発表します。これに基づき市は、公式サイ



トなどで皆さんへお知らせします。それ以外の根拠のない情報に惑わされないようご注意ください。

5月14日に緊急事態宣言は解除されましたが、ソーシャルディスタンス（身体的距離）の確保、マスクの着用、まめな手洗いなど、感染防止のための「新しい生活様式」を実践しながら、みんなで助け合い、支え合って、希望を忘れず乗り越えていきましょう。

福岡県人権擁護委員連
合会からのアピールは
右のQRコードから



6 / 15
2020.No.365

柳川

広報やながわ

Public relations magazine of Yanagawa

CONTENTS	ページ
熱中症対策	2～3
国保の税率改定	4
お知らせ掲示板ほか	5～7
人権・同和教育シリーズ	8



待ちに待った学校再開

5月25日から市内すべての小中学校で約3カ月ぶりに通常登校がはじまりました。垂見小学校では、マスク姿の児童たちが続々と登校。児童からは「早くみんなと遊びたい」と友達との再会を喜ぶ声が聞かれました。学校に到着すると学年ごとに「健康チェックカード」を先生に見せて教室へ。ランドセルを置いた児童たちは、さっそく運動場で元気いっぱい遊んでいました。同校の弥永泰宏校長は「感染防止に気を付けながら、早くいつもの学校生活を取り戻していきたい」と話しました。



◀教室へ入る前に健康状態をチェック

広報やながわ

令和2年6月15日号 No.365

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
●編集 総務部企画課広報広聴係（直通） ☎0944-77-8425 FAX74-5520
●URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kouin@city.yanagawa.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人から読まれるように、ユニバーサルデザインを導入しています。